

# ポルノグラフィと読者

## ポルノグラフィ研究の困難

関西大学社会学部

守 如子

### 1. 問題の所在

フェミニズムのポルノグラフィ批判は、女性がポルノグラフィの「受け手」であることを看過してきた。「女性の性的欲望」を肯定することはフェミニズムにとって重要な主題である。女性向けポルノグラフィを分析・議論の射程に入れることによって、新たなフェミニスト・ポルノグラフィ論を展開したい。

⇒博士論文「女性向けポルノグラフィの社会学的分析 : 女性の性的欲望をめぐって」

『女はポルノを読む：女性の性欲とフェミニズム』青弓社ライブラリー

#### 博士論文の構成：

- ①「女性の性的欲望」の言説分析
  1. セクシュアリティ全般における位置
  2. ポルノグラフィ言説における位置⇒ 女性がポルノグラフィの「受け手」になることの意義を確認
- ②ポルノグラフィのメディア分析
  1. カルチュラル・スタディーズ →読者アンケート分析
  2. メディア論／マンガ表現学 →表現技法分析

(注) ポルノグラフィという言葉の定義

- ①法律・条例 取り締まる対象
- ②フェミニズム 性差別的な性表現
- ③日常用語 マスターベーションのために消費される性表現

⇒以下では、③の意味でポルノグラフィという言葉を使用する

### 2. 分析対象：ポルノコミック

女性向けポルノコミック：「レディコミ」「ハードなBL（ボーイズラブ）」

男性向けポルノコミック：「エロ劇画」「美少女コミック」

### 3. ポルノグラフィ研究の困難

分析対象の資料は購入するしかない

各種出版統計から析出できない

全体像が把握できない

読者がみえにくい

#### 4. 分析からみえるもの：女性向けポルノコミックの特徴

ポルノの表現技法分析

内面のモノローグの描写

「攻め」「受け」両者の顔の描写

読者アンケート分析と編集者へのインタビュー

ジャンルの非明示性と読者の要望

安全に楽しめる性表現

匿名の読者同士の集いの場